

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		決勝													
日時	2020年1月13日 (日)		13:00 ~												
会場	江別市民体育館Aコート														
結果	江別第二 石狩	<table border="0"> <tr><td>7</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>7</td><td>-</td><td>8</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>22</td></tr> </table>	7	-	18	7	-	8	10	-	11	14	-	22	神居東 旭川
	7	-	18												
7	-	8													
10	-	11													
14	-	22													
	38	59													

第34回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

江別第二		石狩						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	長井 琉惺	×	13	0	5	3	4	4
5	鈴木 将仁	×	15	3	3	0	1	1
6	筒淵 敬介	×	0	0	0	0	4	3
7	國友 蓮太郎	×	7	1	2	0	8	0
8	諏訪 雄斗	×	3	0	1	1	1	2
9	岡本 侑大	DNP	0					
10	戸川 拓樹	/	0	0	0	0	0	1
11	藤田 潤二郎	DNP	0					
12	寺田 匠吾	DNP	0					
13	高橋 暖	DNP	0					
14	山崎 百海	DNP	0					
15	小澤 風真	DNP	0					
16	池田 好生	DNP	0					
17	羽山 李琥斗	DNP	0					
18								
HC	森野 泰宏							
合計			38	4	11	4	18	11

神居東		旭川						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	江口 桜平	×	12	0	6	0	3	3
5	笠谷 穰太郎	×	26	0	12	2	15	1
6	義達 斗和	×	17	2	5	1	2	1
7	高柳 恵樹	/	0	0	0	0	1	0
8	伊藤 駿志	×	0	0	0	0	2	4
9	竹田 朱里	/	0	0	0	0	2	0
10	竹内 佑太郎	×	4	0	2	0	3	0
11	小畑 陽生	DNP						
12	中田 名音	DNP						
13	佐藤 翔真	DNP						
14	本間 聖惟	DNP						
15								
16								
17								
18								
HC	河合 博樹							
合計			59	2	25	3	28	9

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

南大会と北大会を制した江別第二と神居東の決勝戦。
 「1Q」
 第二は④のドライブで先制。しかし、神居東は④のドライブと⑤のポストプレイを基点に幅広く攻め、主導権を握る。開始4分、12-3となったところで第二はたまたま一回目のタイムアウト。第二は④のドライブの後、しつこいハーフコートディフェンスで神居東のオフェンスが止まり出す。互いに激しいディフェンスからの切り返しで一進一退。1Q目は18-7神居東のリードで終了。
 「2Q」
 パターンオフェンスを基点に神居東は攻めるが第二がスイッチディフェンスを上手く使い、点数を取らせない。逆に第二は外を基点に攻めるが、シュートが入らない。小康状態で時間が進む。神居東が⑤のポストプレイで22-9。第二はたまたま二回目のタイムアウト。神居はタイムアウト後のプレスで引き離しにかかる。しかし粘る第二も⑤の3Pで食らいつく。前半は26-14神居東リードで終了。
 「3Q」
 神居東は連続リバウンドで引き離しにかかる。ともに激しく守り、ロースコアとなり、リードしている神居東が残り3分で1回目のタイムアウト。ここから第二はオールコートのプレスで一気に相手のミス誘い23-33。一桁にしたいところで神居東⑥の1対1で35-23。ラストプレイで神居東は⑤ハイポストからの1対1で37-24で終了。
 「4Q」
 神居東は⑥の3Pバスケットカウントでスタート。しかし第二は厳しいプレスを継続し、神居東がバタつき始める。点差が一桁になりそうな時に神居東はしっかりと守り、⑤のゴール下で残り3分46-32。第二はたまたまタイムアウト。引き離すが、第二も最後までオールコートプレスで食い下がる。
 結局59-38。北海道男子の頂上決戦は1対1とゴール下の支配力で勝る神居東の優勝となった。
 力強い攻めで決戦大会を制した神居東、石狩伝統の粘り強いディフェンスで戦った江別第二。今後の成長が楽しみな2チームの素晴らしい決勝戦となった。